

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすぶれい株式会社 あすぶれい 田辺校（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日 ～ 2025年 3月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年 1月15日 ～ 2025年 3月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別でマンツーマン又は小集団での療育を行っている。 たくさんの職員でしっかり子どもたちを見ることができている。	子どもたちの成長に合わせて、支援内容を工夫して準備している。 子どもたちが楽しみながら学べる支援を考えて取り入れている。	子どもたちが楽しみながら学べる工夫やアイデアを職員から募集し、支援を充実させていく。 必要な道具や教材などは、相談して購入していく。
2	水書道、えんぴつなど書道セラピーを取り入れての支援で、字が上手になり褒められることで自己肯定感があがっている。	月ごとに手本を変えたり、お子様の苦手な字を特訓し、苦手を軽減している。 たくさん褒めることで自己肯定感をあげ、自信を持てるよう支援している。	褒めるだけでなく、ダメな所も受け入れができるような声かけができる支援者を増やしていく。
3	保護者との面談の機会を多く設け、保護者のお悩みや、お子様との接し方など個別に相談できる環境を整えている。	定期的に保護者のご要望やお悩みを聞き、内容によりすぐに支援に取り入れている。 園や学校でのお悩みの場合は、保育所等訪問支援にて連携をとり、よりお子様が過ごしやすい環境作りができるようにしている。	お悩みを聞く機会を増やし、もっと相談しやすい環境を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集中してしっかり支援するため個別で短時間の支援になるので、長時間預かってほしい保護者のご要望に答えることができない。	個別で集中して支援するので成長できていると感じているが、長時間の支援ができる日がないかを考えていかないと行けない。	従業員を充実させ、環境を整えていく。
2	机に座ってが中心なので、運動に課題があるお子様のご要望にお答えすることができない。	少しの運動だけでも、支援の内容に入れることができないかを考えていかないと行けない。	他事業所と連携をし、支援の分散をして行く。 また、従業員を充実させ少しでも支援ができないかを考え環境を整えていく。
3	利用希望が集中する時間帯が被ってしまい、支援が必要なお子様全員が希望時間にご利用いただけないこと。	店舗数を増やすなどして、受け入れ人数を増やす。	従業員を充実させ、環境を整えていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あすぷれい(株) あすぷれい 田辺校		2025年 3月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令が必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置している。	たまに多い時があるので調整して行く。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		屋内に段差は無く、構造化された環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔と感染症防止の為に消毒に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はないが、一人で籠ることができるスペースが用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		各種会議を定期的に実施し、業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		法令に合わせて年1回、事業所評価を実施し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケース会議の開始や、個別の面談他、職員間での意見交換共有が出来る時間を増やしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価の導入を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事例検討を実施したり、外部研修の機会を確保している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラム作成、公表を行政の指導に合わせて法令に基づき実施している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子どもの支援に必要な項目と五領域を含めて、計画作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子様に合わせて、職員・保護者と情報共有を行い、成長に合わせた計画作成に努めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の内容を、職員間で共有して支援内容に活かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントの内容と、成長に適切しているか日々の様子から判断しながら、確認し共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、保護者の要望もくみ取り、職員間で共有して支援内容に活かしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		どのような支援をすればいいか話す機会を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		工作が週ごとに変え、保護者の要望が多い学習もも入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		祝日は小集団でイベントを開催している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に担当利用者の、打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援開始前に担当利用者の、打ち合わせをしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に面談を行い、見直しの必要性を判断している。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		一番子どもの状況を理解したものが出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		緊急時に備えて、体制作りに努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		要望や必要性があれば、保育所訪問支援も実施している。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご要望に応じて実施している。会議や文書等によって、情報共有や相互理解に努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		保護者様の意向を確認し、必要に応じて、今後、実施していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		保護者様の意向を確認し、必要に応じて、今後、実施していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご利用時に、保護者様と打ち合わせを行っている。情報共有やご要望の把握に努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者様の意向を確認し、必要に応じて実施していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際、保護者様と書面の読み合わせを実施している。質問には、適切にお答えしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		常に相談の場を設けて、お子様本人の意思決定と保護者の要望の中和を促し、最善の利益取得に努めている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		説明の場を設けて、常に同意を得た上での作成を心がけている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		すぐ相談できる環境にしているのと、よく面談している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等のニーズは、要望に沿って開催していけるように努めている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談に応じて、迅速かつ適切に対応している。体制整備が難しい場合は、その旨をお伝えし、ご理解を得ている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタ、LINE等を通して、活動内容やスケジュール等を伝えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報、鍵付き書庫等で管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		車椅子で入れる環境を整えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てセンターや他事業所の方を、書道体験をする機会を設けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP(感染症・自然災害)を策定し、訓練を実施し、周知している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメント時に必ず聞き取りをしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供なし。食物アレルギーについては、契約時・契約更新時に把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修会議、点検、計画の見直しなどして、安全な空間で支援をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定し、研修会議、点検、計画の見直しなどして、周知している。	実施後に、インスタなどで周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、原因と対策についての情報共有を行っている。定期的に対策の見直しを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に会議、年1回以上の研修を継続している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束にあたる行為があった場合は保護者に報告し、承諾を得て記録に残しておく体制を整えている。	

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	あすぶれい株式会社 あすぶれい 田辺校（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～	2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	20名
○従業員評価実施期間	2025年 1月15日		～	2025年 3月 10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別でマンツーマン又は小集団での療育を行っている。 たくさんの職員でしっかり子どもたちを見ることができている。	子どもたちの成長に合わせて、支援内容を工夫して準備している。 子どもたちが楽しみながら学べる支援を考えて取り入れている。	子どもたちが楽しみながら学べる工夫やアイデアを職員から募集し、支援を充実させていく。 必要な道具や教材などは、相談して購入していく。
2	水書道、えんぴつなど書道セラピーを取り入れての支援で、字が上手になり褒められることで自己肯定感があがっている。	月ごとに手本を変えたり、お子様の苦手な字を特訓し、苦手を軽減している。 たくさん褒めることで自己肯定感をあげ、自信を持つよう支援している。	褒めるだけでなく、ダメな所も受け入れができるような声かけができる支援者を増やしていく。
3	保護者との面談の機会を多く設け、保護者のお悩みや、お子様との接し方など個別に相談できる環境を整えている。	定期的に保護者のご要望やお悩みを聞き、内容によりすぐに支援に取り入れている。 園や学校でのお悩みの場合は、保育所等訪問支援にて連携をとり、よりお子様が過ごしやすい環境作りができるようにしている。	お悩みを聞く機会を増やし、もっと相談しやすい環境を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集中してしっかり支援するため個別で短時間の支援になるので、長時間預かってほしい保護者のご要望に答えることができない。	個別で集中して支援するので成長できていると感じているが、長時間の支援ができる日がないかを考えていけないと行けない。	従業員を充実させ、環境を整えていく。
2	机に座ってが中心なので、運動に課題があるお子様のご要望にお答えすることができない。	少しの運動だけでも、支援の内容に入れることができないかを考えていけないと行けない。	他事業所と連携をし、支援の分散をして行く。 また、従業員を充実させ少しでも支援ができないかを考え環境を整えていく。
3	利用希望が集中する時間帯が被ってしまい、支援が必要なお子様全員が希望時間にご利用いただけないこと。	店舗数を増やすなどして、受け入れ人数を増やす。	従業員を充実させ、環境を整えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

あすぶれい(株) あすぶれい 田辺校

公表日

2025年 3月 29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置している。	たまに多い時があるので調整していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		屋内に段差は無く、構造化された環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔と感染症防止の為に消毒に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はないが、一人で籠ることができるスペースを用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		各種会議を定期的実施し、業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		法令に合わせて年1回、事業所評価を実施し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケース会議の開始や、個別の面談他、職員間での意見交換共有が出来る時間を増やしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価の導入を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事例検討を実施したり、外部研修の機会を確保している。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラム作成、公表を行政の指導に合わせて法令に基づき実施している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもの支援に必要な項目と五領域を含めて、計画作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子様に合わせて、職員・保護者と情報共有を行い、成長に合わせた計画作成に努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の内容を、職員間で共有して支援内容に活かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントの内容と、成長に適應しているか日々の様子から判断しながら、確認し共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」と「5領域」を踏まえ、保護者の要望もくみ取り、職員間で共有して支援内容に活かしている。	

活動プログラムの提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		どのような支援をすればいいか話す機会を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		仕事を週ごとに変え、保護者の要望が多い学習も取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		祝日は小集団でイベントを開催している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に担当利用者の、打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録をもとに、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に面談を行い、見直しの必要性を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		放課後デイサービスの提供すべき支援の「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に添える支援に取り組んでいる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択肢を自ら選べるような、工夫をしている。本人の意思をくみ取る、聞くことが出来る様に支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		一番子どもの状況を理解したものが出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		緊急時に備えて、体制作りに努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の要望があれば、情報共有を行っている。今後も保護者のご要望に沿って行く。	必要性がある方は、保育所訪問支援も案内していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご要望に応じて実施している。会議や文書等によって、情報共有や相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			今後、保護者様のご要望に合わせて、移行支援を行う予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			保護者様の意向を確認し、必要に応じて、今後実施していく予定。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			保護者様の意向を確認し、必要に応じて今後実施していく予定。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修、見学の機会が少ないが、参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご利用時に保護者様と話をし、情報共有し、ご要望の把握に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者様の意向を確認し、必要に応じて実施していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際、保護者様と書面の読み合わせを実施し、質問に適切にお答えしている。	

37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		常に相談の場を設けて、お子様本人の意思決定と保護者の要望の中和を促し、最善の利益取得に努めている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明の場を設けて、常に同意を得た上での作成を心がけている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		すぐ相談できる環境にしているのと、よく面談している。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等のニーズは、要望に沿って開催していけるように努めていく。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談に応じて、迅速かつ適切に対応している。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタ、LINE等を通して、活動内容やスケジュール等を伝えている。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報、鍵付き書庫等で管理している。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		車椅子で入れる環境を整えている。	障がいに合わせて、補助ができるように環境を整えていく。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てセンターや他事業所の方など、ご要望に応じて、見学・体験をする機会を設けている。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を行っている。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP（感染症・自然災害）を策定し、訓練を実施し、周知している。	訓練を実施後、インスタなどで周知していく。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメント時に必ず聞き取りをしている。	
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供なし。食物アレルギーについては、契約時・契約更新時に把握している。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修会議、点検、計画の見直しなどして、安全な空間で支援をしている。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定し、研修会議、点検、計画の見直しなどして、周知している。	実施後に、インスタなどで周知していく。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、原因と対策についての情報共有を行っている。定期的に対策の見直しを行っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に会議、年1回以上の研修を継続している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束にあたる行為があった場合は保護者に報告し、承諾を得て記録に残しておく体制を整えている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすぷれい株式会社 あすぷれい 田辺校（保育所等訪問）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 28日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問者がデイでも支援を見ているので、利用児の得意・不得意が把握できている。	様子を見させてもらい、気になるところは支援に入れて出来るように工夫している。	職員を増やして、訪問できる日を増やす。
2	園や学校と連携を取り、困っていることを支援に入れることができる。	園や学校の方としっかり話をし、困っていることなどを聞くようにしている。	困っていることを書きだす。 研修の回数を増やして、その子に応じた支援ができるようにする。
3	保護者の方や学校との橋渡しが出来るので、お互い言いにくいことなどが緩和される。	希望に応じて面談をし、何に困っているのか、どう思っているなどを聞いている。	面談の機会を増やす。 面談できる人材を育てる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の人数が少ないため、安定した提供が難しい。	人員不足。	人員の確保をしていく。
2	専門家が少ない。	研修は受けているが、心理士や理学療法士などの専門家がいらない。	人員の確保をして専門家を増やしていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あすぶれい(株) あすぶれい 田辺校		2025年 3月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要 と思われる点など	課題や改善すべき点
・環境 ・体制・ ・整備 ・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		必ず名札、メモ、パンフレットを 持ってすぐに対応できるようにして いる。	挨拶の時にわかりやすいようにプレート を用意しようかと考えています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		行ける人が限られているので、専門の人員 を増やしていく予定にしている。
業務改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			行ける人数が少ないので、今後増やしてみ んなで参加していきたいと思います。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する 機会を設けており、その内容を業務改善につなげている か。	○		情報をみんなで共有している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容 を業務改善につなげているか。	○		問題が見つかった時は、どうすれば いいのかを職員みんなで話し合っ ている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につ なげているか。		○		第三者も今後考えていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や 法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			人員がいないのでまだまだですが、今後 入って来た職員にはしっかり研修をしてい こうと思います。
適切 な支 援の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こど もと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保 育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保護者のご要望を聞いて作っていま す。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援 管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共 通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行 われているか。	○		職員みんなと情報を共有し、話し 合っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の 担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込 んでいるか。		○		訪問施設の方と連携はしているが、計画書 作成に意向は盛り込まれていないので今後 対応していきたいと思っています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿っ た支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用い たフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども 含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 確認しているか。	○		アセスメントシートやアンケートで している。	新しいソフトを導入したので今後ツールも 取り入れて対応していきたいと思います。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラ インの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえなが ら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿っ た支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行わ れる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連 携して支援を行っているか。	○		複数人で行く場合は連携していま す。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行 われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有してい るか。	○		事業所に戻ってきて確認をしていま す。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手 法を尊重して支援を行っているか。	○		できるだけ邪魔にならないよう支援 をしています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の 検証・改善に繋げているか。	○		細かく記録を取ることを心掛けてい ます。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを 行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断 し、適切な見直しを行っているか。	○		毎回、保護者や訪問先と話す機会を 設けてどうするかを話している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関 との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画 しているか。	○		そのお客様のことを一番知っている 者が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福 祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制 を整えているか。	○		区役所や子育てセンター、協力医療 機関と連携を取っている。	もっと地域の保健などと連携が取れるよ うにしていこう。

関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご希望に応じて情報を共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		必要に応じて、外部研修やオンライン研修を受けています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		あまり案内がないので参加できていないです。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		報告時にしっかり保護者とお話しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族参加の研修のご要望もないですが、今後できるように環境を整えていきたいと思っています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にしっかり説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		パンフレットなどを持参し、しっかり説明をしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		しっかり聞いてから作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		同意を得てから訪問の連絡を入れている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があればすぐに対応してます。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		訪問なのできょうだいの交流は特にないですが、デイの方でしていきたいと思っています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		すぐに対応しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		デイの方で発信してます。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫に書類を入れています。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		その都度配慮できるような体制は整えています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先より相談を受けています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		報告書の内容について毎回確認を取って連携しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書ができしだい、すぐに報告しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫に書類を入れています。	
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		色々相談されています。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		デイの方でしています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		デイの方でしています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		何かあればすぐを書くようにしています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		デイの方でしています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束をする場面が特にないのですが、念のためしっかり説明をして同意を得ています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		2025年 3月 29日		
あすぷれい(株) あすぷれい 田辺校		利用児童数		6名		
		回収数		5名		
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5			どう声かけをすればいいかの相談にのってもらえました。	今後もお役にたてるよう勉強していく。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			直接支援の時、しっかり教えてくれました。	支援員が変わっても、同じようなサービスができるようにしていく。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5			すぐに回答してもらえました。	すぐに出来ない場合でも、後日電話または訪問して対応していく。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	1		困りごとが減りました。	いろいろな課題が出てくるので、その都度軽減できるよう協力していく。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			今後お願いします。	満足していただけるような訪問支援員を育てていく。
その他のご意見		ご意見を踏まえた対応				
・授業でできないことをディでしてもらえようになり、本人のやる気が出ました。 ・来てもらえることで授業に参加しやすくなりました。 ・ご家庭でのお悩みが聞けて、連携を取ることににより改善されました。 ・行き渋りが改善されました。 ・いつも丁寧にご様子の方を見ていただき、また随時共有していただいています。 ・他事業所の支援の仕方や保護者の方の思いなど教えていただき擦り合わせることで、園での支援がスムーズにできています。		嬉しいお言葉が多く、ありがとうございます。 お子様たちが、通いやすい環境を作る為に協力できたと思います。 どんなお子様にも対応できるように、研修などを受けて知識を得ていろいろ試していきたいと思っています。 お忙しい中時間を空けていただいていますので、しっかり支援ができる体制を整えていきたいと思えます。				